

「地区連」で京力農場プラン検討



笠取・東宇治地区連絡会議では、地域農業の課題と今後の取り組みについて協議した(4月5日)

委員が戸別訪問で「農家の意向」集約 宇治市農委会

宇治市では、農業委員会委員が農家アンケートの配布回収を担当し、市農林茶業課が集計結果を整理。4地区に区分した「地区連絡会議(地区連)」を中心に「京力農場プラン」の検討を進めている。

森林原野化した荒廃農地(B分類)の現場を確認する農業委員(日出地区)



伊根町では、農地利用状況について、京都府GIS調査で判明した荒廃農地(地理情報システム)を活用し、3月の農業委員会総会で「非農地判断要領」を決定し、本年度から非農地判断を推進していく。

荒廃農地の「非農地判断」を推進

伊根町農委会が「要領」を決定

農業委員・農地利用最適化推進委員は、遊休農地のリストと地図をもとに現地調査の結果、事務局が整理して各委員による現地調査の結果は、事務局が整理して定例総会に付議。全委員の同意を得て、農業委員会として非農地と最終決定する予定だ。(伊根町農業委員会)

女性委員が「つないで発信」

木津川市には、地産地消として2016年に発足。木津川市には、地産地消をクリエーター的な方面からサポートしてくれる「木津川市クリエーター部」が存在します。

木津川クリエーター部



商品の価値を伝える写真・イラスト・パッケージデザインなどの技術で地産地消を応援するクリエーター部のメンバー

デザインの力で地産地消を応援

私も、農業を通じて魅力的な地域を創る活動の一助となるように精進していきたいと思っています。(木津川市農業委員会・赤穂海佳委員)

伝統の筍 フェイスブックで毎日発信



自慢の筍畑で語る清水さん、今は旬の筍詰め合わせ

京都市 清水大介さん

公認団体 同志社大学フットサルクラブTREBOLと

タイアップ

伝統の京都式軟化栽培で京都西山特産の筍(タケノコ)を守る清水大介さん(38)は、収穫作業の繁忙期でもフェイスブックで「筍の生育状況」をほぼ毎日発信。一年を通して「旬と季節の野菜」の情報を拡散するため、学生時代に所属した公認団体同志社大学フットサルクラブTREBOLとタイアップしたり、応援隊の受け入れ、園遊見学会や京都中小企業家同友会の入会など、多彩な活動を展開している。

京都

京都府支局 京都府農業会議

京都市上京区出水通小路東入丁子風呂町104-2 府庁西別館内 075-441-3660

農deみら

久御山町 吉川 剛史さん

顧客の要望で台木・穂木を選択 オーダーメイド苗が好評

500年の伝統を誇る淀川産の久御山町で苗農家の長男として育ち、7年前にUターン就農した吉川剛史さん(32)。現に適応した「オーダーメイド」接在、ハウス20棟で野菜苗を生産。顧客の要望に、全国各地の野菜農家、種苗店、ホームセンターに出荷して、近年は、農業大学の卒業生を毎年雇用。苗の繁忙期(11月5日)以外は、ハウスでコマツナ、ホウレンソウ、ナス、キウリなど野菜の生産を拡大している。



「雇用を通じて、農業経営を発展させつつ、従業員に若者に技術を伝えて、農業後継者の育成にも貢献したい」と意欲的だ。(久御山町農業委員会)